

目次

卷頭言——中国簡牘呼称についての提言——……………大庭 脩…………… i

一九八〇年出土の木簡…………… 1

概要	栄原 永遠男 1	滋賀・野路岡田遺跡	別所 健二 36
凡例	宮城・多賀城跡		平川 南 38
奈良・平城宮・京跡	佐藤 信 7	石川・漆町西遺跡	小村 茂 42
奈良・ ^{平城} 京 左京(外京)五条五坊七坪	中井 公 14	石川・桜町遺跡	四柳 嘉章 43
奈良・藤原宮跡	加藤 優 16	石川・白山橋遺跡	四柳 嘉章 45
奈良・稗田遺跡——下ッ道——	中井 一夫 22	石川・御館遺跡	四柳 嘉章 47
京都・長岡京跡	山中 章 25	兵庫・御着城跡	山本博利・秋枝 芳 48
大阪・大蔵司遺跡	森田 克行 31	兵庫・鵜・城山遺跡	三村 修次 49
三重・西沖遺跡	森前 稔 33	広島・草戸千軒町遺跡	志田原 重人 50
静岡・御殿・二之宮遺跡	中嶋 郁夫 34	和歌山・野田地区遺跡	渋谷 高秀 53

次

福岡・観世音寺僧房跡 倉住靖彦 55 福岡・大宰府学校院跡東辺部 倉住靖彦 57

一九七七年以前出土の木簡(三) 59

奈良・平城宮跡(第21次) 鬼頭清明 59 奈良・薬師寺 鬼頭清明 67

奈良・平城宮跡(第22次北) 鬼頭清明 63 広島・下岡田遺跡 松下正司 68

中国における簡牘研究の位相 池田 温 71

庸米付札について 狩野 久 99

静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について 原 秀三郎 115

草戸千軒町遺跡出土の木簡——形態を中心に 志田原 重人 141

彙報